

## 付録 1 5 低位レイヤ整合性交渉

本付録はユーザによって適用されるであろう付加的な低位レイヤ通信可能性確認手順を述べます。

INS ネットはこの手順をサポートします。

### 1. 概 要

“低位レイヤ整合性”情報要素の目的は、アドレスされたエンティティ（例えば、発信ユーザによりアドレスされた相手ユーザ、インタワーキングユニット、高位レイヤ機能網ノード）による通信可能性確認に使用されるべき手段を提供することにあります。“低位レイヤ整合性”情報要素は、呼を生成するエンティティ（例えば、発信ユーザ）とアドレスされたエンティティとの間を ISDN によりトランスペアレントに転送されます。

“低位レイヤ整合性”情報要素のユーザ情報プロトコルフィールドは呼を生成するユーザとアドレスされたユーザでの低位レイヤ属性を示します。この情報は ISDN によって解釈されません。よって ISDN により提供される伝達能力はこの情報の影響を受けません。呼を生成するエンティティとアドレスされたエンティティは、以下に示す交渉によって低位レイヤ属性を変更できます。但しその低位レイヤ属性は、ISDN により実際に提供される伝達能力がサポートしているものです。

“低位レイヤ整合性”情報要素は本文 4. 5. 1 9 節に従ってコード化されます。

### 2. 着信ユーザへの低位レイヤ能力通知

発信ユーザが、情報転送属性（タイプ 2 情報一オクテット 3）または通信中で用いられ、“伝達能力”情報要素では識別されない低位レイヤプロトコル（タイプ 1 情報一オクテット 5 から 7）を着信ユーザへ通知したいときは、「呼設定」メッセージの中に“低位レイヤ整合性”情報要素を含めなければなりません。この情報要素は、網により運ばれ着信ユーザへ届けられます。けれども、もし網がこの情報要素を運ばないならば、網は本文 5. 8. 7. 1 節に示された動作をします。

### 3. ユーザ間での低位レイヤ整合性交渉

もし「呼設定」メッセージに含まれる“低位レイヤ整合性”情報要素の交渉指示（4. 5 節参照）が“アウトバンド交渉可能”（オクテット 3 a、ビット 7）と設定されているならば、1 つ以上の低位レイヤプロトコル属性を交渉してもかまいません。この場合、その呼に肯定応答するユーザは、「応答」メッセージに“低位レイヤ整合性”情報要素を含めてもかまいません。この情報要素は網によりトランスペアレントに運ばれ、発信ユーザへ「応答」メッセージに入って届けられます。

（注） 低位レイヤプロトコル属性のみの交渉が許容されます。それゆえ情報転送属性（オクテット 3 から 4）が、着信ユーザによって「応答」メッセージ中に設定されるならば、「呼設定」メッセージに含まれた“低位レイヤ整合性”情報要素のそれと同一になります。

もし何らかの理由で、網がこの情報を転送できないならば、網は本文 5. 8. 7. 1 節に示された動作をします。ユーザは、発信ユーザから受信した“低位レイヤ整合性”情報要素に入っていたものと同じ値を持つ属性を着信ユーザから発信ユーザへ送る“低位レイヤ整合性”情報要素に含めないことを勧めます。

#### 4. 低位レイヤ整合性交渉の選択

“低位レイヤ整合性”情報要素は、以下の4つのケースのうち1つを示す交渉指示あるいはインバンド／アウトバンド交渉を含みます。

- (1) アウトバンド交渉不可 (デフォルト) : 着信ユーザは、本付録3章に従って交渉をしてはなりません。
- (2) アウトバンド交渉可能 : 着信ユーザは、必要であれば本付録3章に従って低位レイヤ整合性交渉をしてもかまいません。
- (3) インバンド交渉可能 : 着信ユーザは、サービスまたはアプリケーション要求に従い、サポートしているインバンド交渉を用いて低位レイヤ整合性交渉をしてもかまいません。
- (4) インバンドかアウトバンドいずれかの : 着信ユーザは、その要求に従いインバンドまたはアウトバンドのいずれかの整合性交渉手順を行ってもかまいません。もし呼がISDNでエンド・エンドであり、アウトバンド低位レイヤ整合性交渉を発着信ユーザの両方がサポートしているならば、この交渉方法が選択可能です。

未提供

#### 5. 要求値の選択手順

ユーザが、低位レイヤ整合性パラメータの選択肢（例えば、選択的なプロトコルの組み合わせ、あるいはプロトコルパラメータ）を示したい場合には、“低位レイヤ整合性”情報要素が「呼設定」メッセージで繰り返されます。最大4つまでの“低位レイヤ整合性”情報要素が「呼設定」メッセージに含まれることがあります。メッセージ中の最初の“低位レイヤ整合性”情報要素は、“優先順に並べる”を指定する“繰り返し識別子”情報要素の後に置かれます。“低位レイヤ整合性”情報要素の順序は、エンド・エンド低位レイヤパラメータの優先順位を示します。

また、網のシグナリング能力の点から、網は優先順位が低い“低位レイヤ整合性”情報要素を破棄することがあります。

網あるいは着信側ユーザが“低位レイヤ整合性”情報要素の繰り返しをサポートしておらず、従って、“繰り返し識別子”情報要素とその後に続く“低位レイヤ整合性”情報要素が破棄される場合には、最初の“低位レイヤ整合性”情報要素のみを使用して交渉を行います。

着信側ユーザは、「応答」メッセージ中に“低位レイヤ整合性”情報要素を含めることによって、「呼設定」メッセージで提供された選択肢の中から一つを選択したことを示します。「応答」メッセージに“低位レイヤ整合性”情報要素が含まれない場合には、「呼設定」メッセージの最初の“低位レイヤ整合性”情報要素が受諾されたことを示します。